

一般財団法人 島根県水泳連盟 競泳委員会  
島根県代表選手団 選考基準

第78回国民スポーツ大会水泳競技大会(佐賀国スポ) 競泳及びオープンウォータースイミング

1. 国民スポーツ大会島根県予選会の希望する種目に参加していること。(リレー種目も同様)
2. 参加標準記録を突破した選手の中より選考する。
3. 該当年度、4月1日より、下記競技大会終了までの期間で出場した長水路公認大会で参加 標準記録を突破した場合、上位記録より選考対象とする。
  - ・中学生は、島根県中学校水泳競技大会
  - ・高校生は、中国地域高等学校選手権水泳競技大会
  - ・成 年は、国民スポーツ大会島根県予選会
4. 選考順位は、①国スポ予選会(決勝)の記録、②国スポ予選会(予選)の記録、③その他の公認大会の記録の順とする。

(国スポ予選会に参加できない選手(下記8に該当)は、選考対象(上記1に該当)となるが③扱いとする)

5. 上記、選考基準にて選考してもなお出場者が8名に満たない場合は、国スポ出場8名枠(男・女 各4名)を採用する。(ただし、男女どちらかが5名以上になった場合は不採用)

8名枠の選考方法は、国民スポーツ大会島根県予選会(決勝)での記録が、国スポ参加標準記録 対比(%)で上位の選手を選考対象とする。

8名枠は、国スポ未出場者とする。  
成年(男女)選手については、8名枠選考の対象外とする。

6. リレー種目(少年男・女 成年男・女)の選考については下記の通りとする。
  - ①個人種目参加者(標準記録突破者・8名枠参加者)以外では、男女各5名以内とする。
  - ②選考順位は、国民スポーツ大会島根県予選会(決勝)での該当種目、区分での上位4名とする。
  - ③競泳委員会で定めた参加標準記録を突破しなければならない。  
※過去3年の予選8位平均の 103%

参加標準記録を突破するリレー種目が複数あり、男女各5名以内の枠を超える場合は、参加標準記録に近い順に選考する。

	男子			女子		
	少年B	少年A	成年	少年B	少年A	成年
400m メドレーリレー	3:59.36	3:54.58	3:46.41	4:25.33	4:23.18	4:18.23
200m フリーリレー			1:33.93			1:48.06
400m フリーリレー	3:39.20			4:02.30	3:59.06	
800m フリーリレー		7:48.32				

- ④リレー種目選考メンバーの個人記録は4月1日より、下記競技 大会終了までの期間で出場した長水路公認大会での最上位記録とする。

- ・中学生は、島根県中学校水泳競技大会
- ・高校生は、中国地域高等学校選手権水泳競技大会
- ・リレー種目での第1泳者の正式時間も選考の対象とする。

- ⑤各リレー種目の上位4名の中に、個人種目参加者を起用する場 合がある。

7. オープンウォータースイミング競技の選考については下記の通りとする。

①国スポ予選会の選考対象種目に参加し、標準記録を突破した最上位選手を選考する。

男子 1500m自由形 17分00秒00(長水路)

女子 800m自由形 9分40秒00(長水路)

②国スポ予選会に於いて標準記録を突破する者がいなかった場合に限り、

(1) 4月1日から国スポ予選会まで記録を参考とし選考する。

(2) または2023年4月1日以降、OWS日本選手権、(公財)日本水泳連盟認定競技会、国際大会において5km以上の競技に参加し完泳している者を選考する。

③選考枠 男子1名 女子1名(ともに成年、少年共通)

④2024年8月1日(木)までに予備エントリーをする。

予備エントリー後、8月7日(水)までに出場枠(2名または1名)が決定する。

出場枠1名の場合、標準記録に近い者とする。

8. 国スポ予選会に特別理由(大学での重要な大会)により参加出来ない成年については、競泳委員長宛に文書で許可申請を提出すること。(国スポ予選会申込締切日までに)

9. 監督(男・女)については、競泳委員長が推薦し、選手選考会議(競泳委員会)で決定する。

支援コーチについては、上記監督とは別に出場選手の指導者を派遣する場合がある。

シャペロンを派遣する場合がある。

競泳委員長を別途、派遣する場合がある。

大会総務(事務局)に参加させる場合がある。

※監督は競泳・OWSで2名となる。

競泳・OWS兼任1名 + 競泳1名 (OWS参加なしの場合、競泳2名)

(または、OWS1名 + 競泳1名)

競泳監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、公認競泳コーチ3、公認競泳コーチ4、または公認水泳教師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有する者とする。

OWS監督は、(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認水泳コーチ1、公認水泳コーチ2、公認オープンウォータースイミングコーチ3、公認オープンウォータースイミングコーチ4、または公認水泳教師、公認水泳上級教師のいずれかの資格を有する者とする。

10. 上記選考に加え、各選手の普段の生活態度(挨拶等の礼儀、学習意欲、行動力)と練習状況(合宿参加、取組む姿勢、努力、忍耐等)も選考の補助資料とする。

\* 各種大会参加時における代表選手として模範となる態度、行動等

選手(成年を除く)・監督は国体の 島根県選手団として全日程に参加できる者に限ります。

※合宿・結団式は含めない